

# テーマ 生命（1）

教科書（pp.24～25）  
ワークシートNo.4の解説

# 出生前診断の是非

母体内の胎児の健康状態を把握する検査を、**出生前診断**という。とくに妊娠前半期に胎児の遺伝的な疾患などを診断する場合、中絶が可能な期間に検査結果が出る。そのため、**妊娠の継続を中断することも起こりうる。**

**YES** or **NO**

・・・出生前診断について 教科書24ページや資料を参考にしながら、出生前診断の是非について自分の意見を書こう！

## 意見を述べる上で大事なものは…

- ◆意見が分かれるテーマについて意見を述べる場合、評価の分かれ目はどちらの立場で書いたかではない。その立場・意見の**理由**や**根拠が明確で説得力があるか**、**筋道を立てて分かりやすく説明できているか**である。

# 意見を述べる前にすべきことは…

- 資料がある場合はその資料をよく読み込む。そして**理由や根拠**になりそうな部分を見つける。
- 事前に調べる時間があるレポート課題のような場合は、インターネットや文献でそのテーマについての**情報を収集し、論点（そのテーマで重要な部分や意見が分かれるポイント）**を把握しておく。
- 自分の立場に近い意見があれば、それを参考にして意見を書くこともできる。全部をオリジナルの意見にしなくとも良い。

# 今回のテーマ（出生前診断）では…

【YES】で書く場合

…どのような**メリット**があるのかを踏まえて意見を記述する。

➤ 出産前に胎児の**遺伝的な疾患**などを診断できる

⇒ 実際に障害を持った子どもを産み育てることは家族の身体的・心理的負担が大きい。その不安や負担を和らげることがができる。

【NO】で書く場合

…どのような**デメリット**があるのかを踏まえて意見を記述する。

➤**命の選別**になってしまう

⇒障害のある子どもが産まれる可能性だけで夫婦の間に生まれた**大事な命を絶ってしまう**ことになる。また、「産みたい」「産まない方がいい」という意見の対立が生じ、家族の間に亀裂が入る可能性がある。